

自脱型コンバインのセルフメンテナンス

こまめな点検で長く使おう

10 a当たりの米生産費に対する農機具費は約2割を占めています(図1)。これは労働費の約3割に次いで大きな値です。

全農では、この農機具費の低減に向けて「農機コスト低減の3原則」(図2)に基づき、取り組みを進めています。

全農が進める農機具費の低減に向けた取り組み

①農機価格の引き下げ

1つ目は農機価格の引き下げです。「機能を絞った低価格モデル農機の共同購入」に取り組み、第一弾の大型トラクタ(令和3年3月末供給終了)、令和2年12月から供給開始した第二弾の中型トラクタ、そして第三弾としてコンバイン共同購入の取り組みを進めています。

②利用面積の拡大

2つ目は利用面積の拡大です。「農機レンタル」など農機具の共同利用を促進しています。

③使用年数の長期化

3つ目は使用年数の長期化です。農機具をできるだけ長く使用できるように、修理・アフターサービス体制を構築しています。

これら3つのうち、生産者の皆さんが自ら取り組めるテーマが「使用年数の長期化」です。

農業機械は、工作機械や自動車と違い、使用する環境がシビアです。地面を耕したり、泥水のなかを進んだり

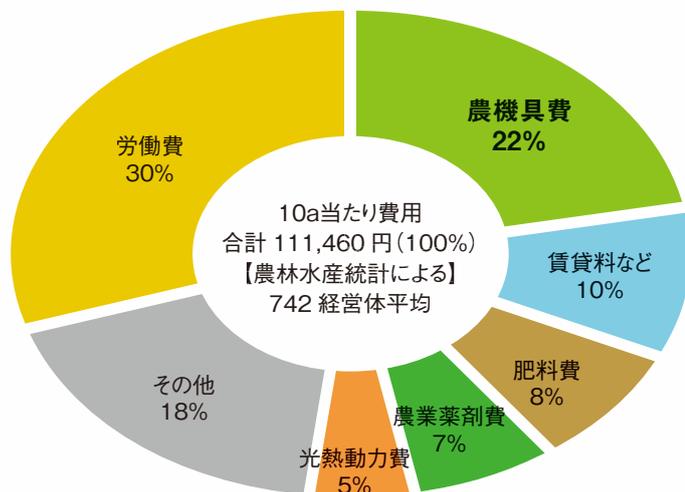


図1 10 a当たりの米生産費(令和3年)

と通常は避けたい環境下で機械を使用します。故に、農業機械は故障が発生する頻度が多くなるので、定期的なメンテナンスが欠かせません。ひと口に故障といってもさまざまなあり、小さな故障であれば、簡単に作業ができて、交換する部品も少なく、安価に済みます。

しかし、心臓部であるエンジンやミッションが破損してしまった場合はどうでしょうか。オーバーホールとなり、修理代金は高額になります。農機具のセルフメンテナンスをこまめに行うことで、こうした大きな故障が発生するリスクを減らし、保有する農機具を長持ちさせることができます。農機具を長く使用することができれば、農家経営の収支を改善する一助となります。

次頁のセルフチェック表(表1)でお手持ちのコンバインをチェックしてみましょう。



基本的な点検方法は二次元バーコードから解説動画をご覧いただけます。動画は以下の順番で流れます。

トラクタ	0 : 00~23 : 40
コンバイン	23 : 40~49 : 00
田植機	49 : 00~1 : 12 : 00



YouTube アカウント

「全農 耕種資材部 農業機械課」

本格的な点検・整備をご希望される場合は、最寄りのJA農機センターへご相談ください。

【全農 耕種資材部 農機事業改革推進課】

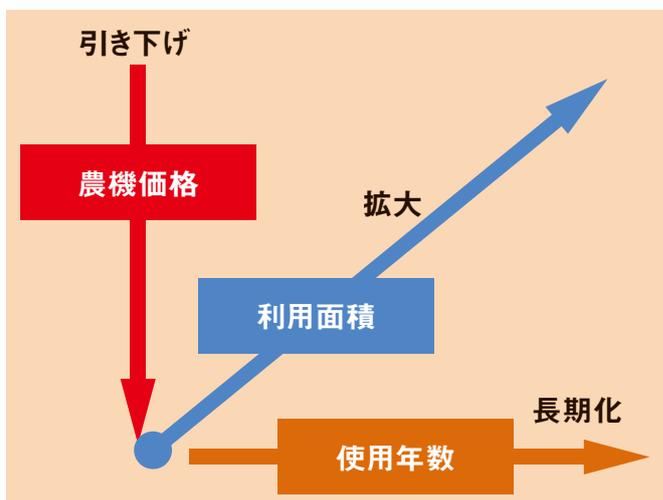


図2 農機コスト低減の3原則

表1 コンバインセルフチェック表

No.	点検箇所	点検内容	チェック
1	エンジンオイル	オイルゲージでオイルの汚れ・量を点検	
2	エンジンオイルフィルター	アワメーター200hrあるいはオイル交換2回に1回交換	
3	防塵スクリーン	ゴミの付着を点検・清掃	
4	冷却水	サブタンク(リザーブタンク)で残量を点検・補充・交換	
5	ラジエータホース	ホースの劣化や亀裂、接手のゆるみを点検	
6	ファンベルト	ベルトの摩耗、プーリー間たわみ量が規定値か点検	
7	燃料フィルター	ゴミの付着を点検・清掃(エア抜き忘れに注意)	
8	燃料ホース	ホースの劣化や亀裂、接手のゆるみを点検	
9	エアクリーナ	エレメントの変形や目詰まりを点検・清掃	
10	バッテリー	バッテリー液残量を点検、ターミナル部分腐食を点検・清掃	
11	ヒューズ・配線：写真1	自動装置作動しない箇所があればヒューズ・配線を点検	
12	ミッションオイル	検油ボルトあるいは検油窓で残量を点検・交換。交換時はフィルターも交換	
13	引起し爪(刈取部)	爪の摩耗や変形破損の有無を点検	
14	刈刃(刈取部)：写真2	刃の摩耗や変形破損、隙間の広がりを点検	
15	各部チェーン	引起し・株元・こぎ深さ・フィードチェンのゆるみ点検	
16	受網 (脱穀部)	網の目詰まりや摩耗、破損を点検・清掃	
17	こぎ歯 (脱穀部)	歯の摩耗や変形破損の有無を点検	
18	わら切刃(脱穀部)：写真3	刃の摩耗や変形破損の有無を点検	
19	各部ベルト(脱穀部下方)	各ベルトの摩耗、たわみ量が規定値か点検	
20	カッター刃(排出部)：写真4	刃の摩耗や変形破損、2種類の刃の隙間が規定値か点検	
21	クローラ	摩耗や亀裂の有無、たわみ量が規定値か点検	
22	エアコンフィルター	エアフィルターの汚れを点検・清掃	
23	各部注油・グリスアップ	集中注油装置や手差しで注油、グリスアップを実施	

注1) 新車購入から50時間経過後のエンジンオイル交換時、エンジンオイルフィルターも交換しましょう

2) 簡易的なチェック表です。点検時は取扱い説明書をよく読み、安全に留意し、機体ごとの適正値や取扱い方法を守り作業をお願いいたします。



写真1 ヒューズボックスとヒューズ

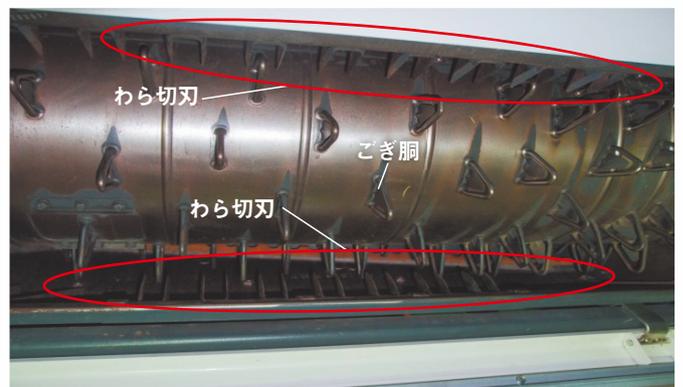


写真3 わら切刃(脱穀部)

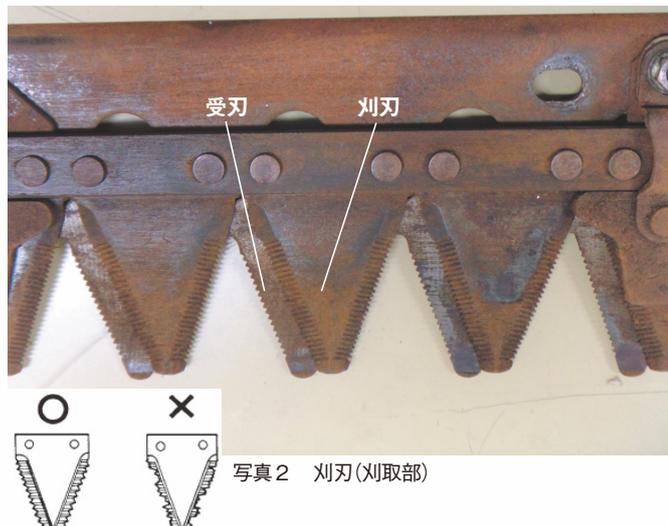


写真2 刈刃(刈取部)

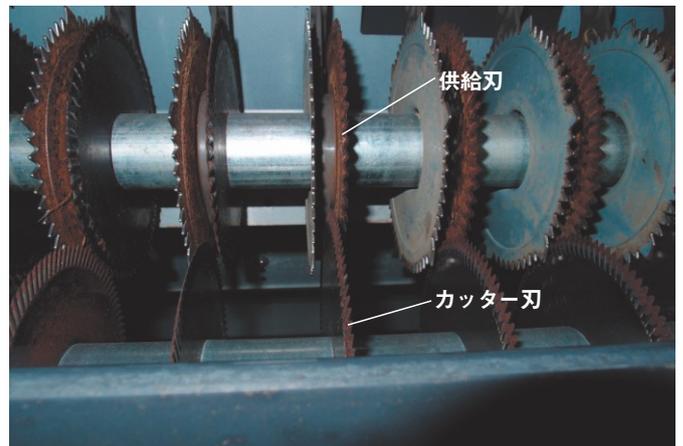


写真4 カッター刃(排出部)